

産業振興会議の在り方と産業集積のアップデート

墨田区産業観光部



ひと、つながる。
墨田区



墨田区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

産振会議の役割（議論の方向性）

令和4年度第2回産業振興会議論点整理

産業と観光の将来構想の策定を踏まえ、産業振興会議の在り方についての検討が必要

→ビジョン実現に向けた取組（事業）の結果に対する意味づけ

→取組（事業）経過に対する方向性評価

→その結果を、区側は事業の見直しに反映

R4第2回会議での議論の内容は将来構想に描かれていることがほとんどであるが、実際にやることを議論する必要がある

→ものづくりのまちであることの看板をおろさず、どういうまちを目指すのか。そのために必要な事業の検証や、仮説の立案を行う

産業振興会議の位置づけ

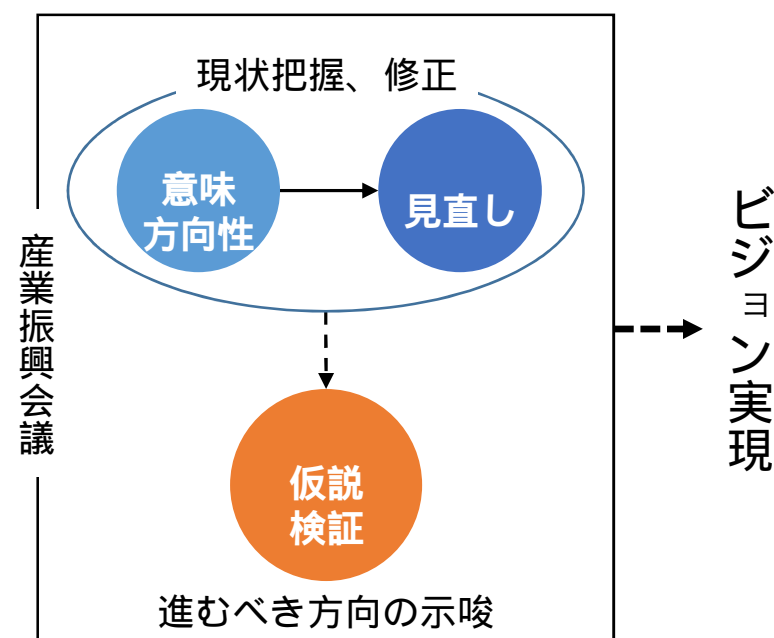
事業の結果に対する意味付け、経過に対する方向性評価を行う

産業と観光の将来構想に従い事業を進める中で、事業の見直しに資する検討を行う

産業と観光の将来構想で掲げたビジョンの実現のために設定した事業の検証、新たな仮説の立案を行う

議論の視点

- ▶新しい事業を起こす
- ▶連携・誘致を進める
- ▶事業者の意識改革を進める



産業集積をどのようにアップデートさせるのか

令和4年度第2回産業振興会議論点整理

なぜ、産業集積のアップデートが必要なのか

- ▶ まちの活力を維持するためには産業集積が必要
- ▶ ものづくりの再定義（解釈の拡大）が必要

これからの産業集積維持にはコトづくり的な要素が重要

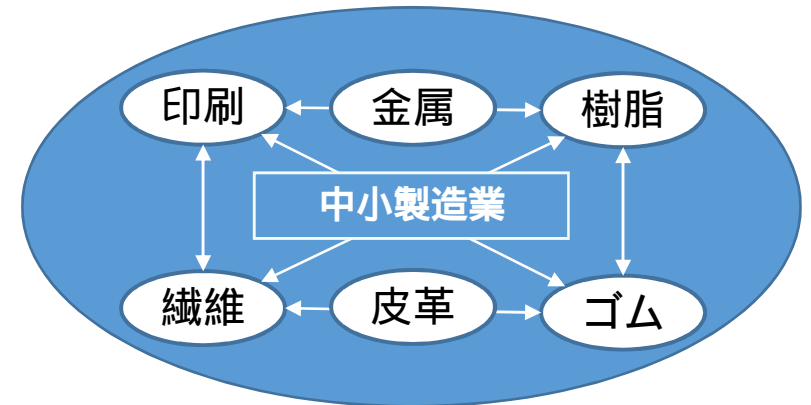
新しい事業を興す

連携・誘致を進める

事業者の意識改革

- ▶ 「ものづくりのまち」であることに対する地域内外の認識強化
→ 突出した成功事例創出と効果的発信（憧れや共感を生む）
- ▶ 産業資源の観光面での活用促進

これまでの“ものづくり”



これからの“モノづくり”

